

リレーションシップバンキングの機能強化計画に基づく

# “地域貢献に関する 情報開示”

(平成17年3月期)



株式会社 福井銀行

## 地域貢献に関する開示情報の項目

1. 地域への信用供与の状況	
(1) 貸出業務全般の状況	
総貸出金残高	1
地域向け貸出金残高・貸出金比率	1
業種別貸出金残高・貸出先数	1
地域向け業種別貸出金残高・貸出先数	2
(2) 中小企業向け貸出業務の状況	
中小企業向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率	3
地域の中小企業向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率	3
中小企業向け融資商品の提供内容	4
福井県内の保証協会保証付貸出金残高	4
地方公共団体の制度融資への取組状況	4
(3) 個人向け貸出業務の状況	
個人向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率(含む住宅ローン)	5
地域の個人向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率(含む住宅ローン)	5
個人向けローン商品の提供内容	6
2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況	
(1) 顧客接点の状況	
店舗等チャネルの状況	7
(2) 預金業務等の状況	
総預金残高・預かり資産残高	8
地域の預金残高・預かり資産残高	8
決済・資産形成サービス等の利用状況	8
地域顧客への利便性提供に資する取組状況	9
(3) 子会社を通じた利便性提供の状況	9
3. 地域経済活性化への取組状況	
(1) 企業に対する経営サポートの状況	
企業の経営相談等への取組状況	10
企業再生への取組状況	11
(2) 企業育成への取組	
企業育成等への取組状況	12
(3) 地方公共団体の事業との関係	13
4. その他	
(1) 地域への各種支援活動の状況	
ボランティア活動等の状況	14

# 1. 地域への信用供与の状況

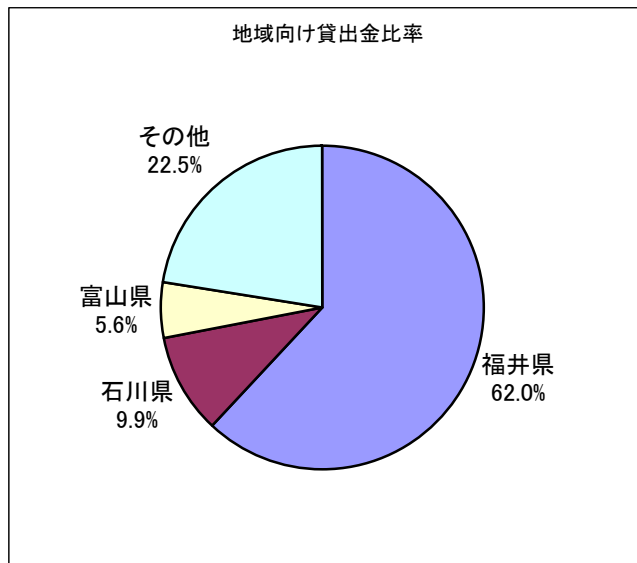
## (1) 貸出業務全般の状況

貸出金については企業の資金需要は低調でありましたが、消費者ローンが順調であったことから、1,485,536 百万円となりました。

なお、地域向け（北陸3県内）貸出金は1,151,124 百万円（うち福井県内 921,130 百万円）であり、貸出金全体の77.5%（福井県内 62.0%）となっております。

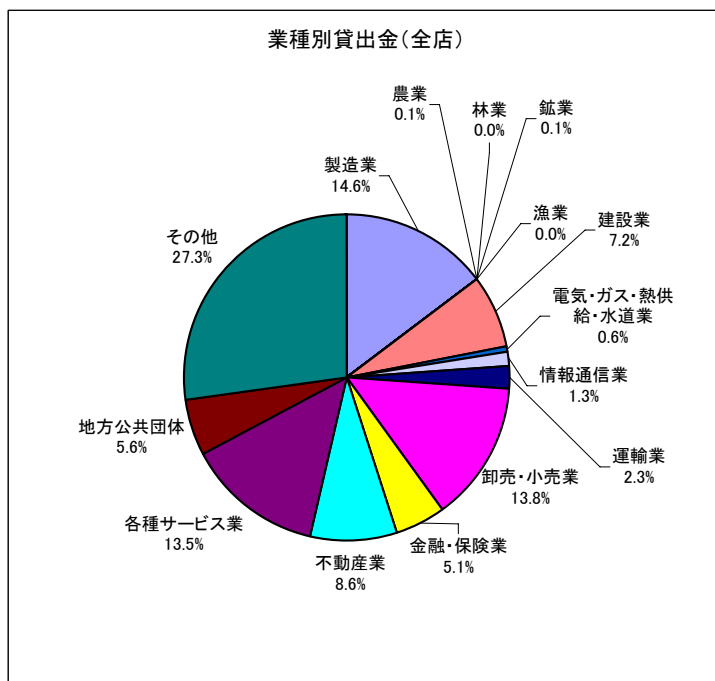
### <地域別貸出金残高・貸出金比率>

(百万円)	
福井県	921,130
石川県	146,380
富山県	83,613
その他	334,412
合計	1,485,536



### <業種別貸出金残高・貸出先数>

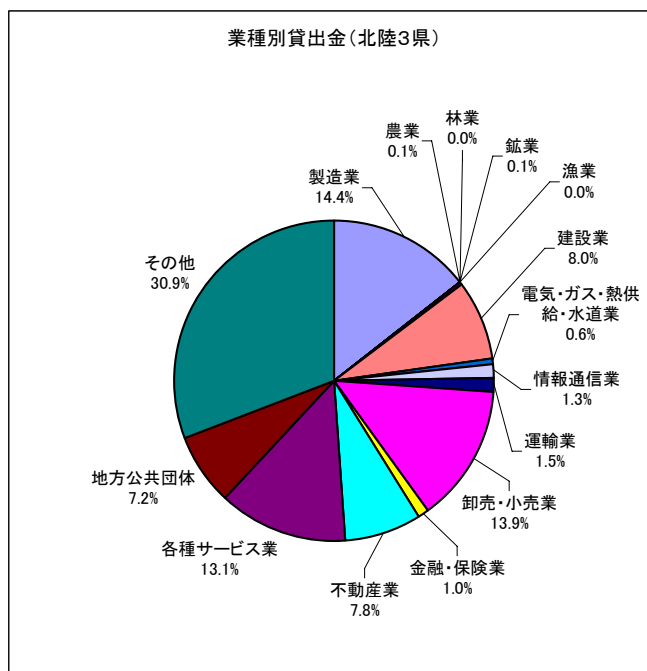
業種	貸出金残高 (百万円)	貸出先数 (先)
製造業	216,646	1,934
農業	1,295	104
林業	235	8
漁業	118	10
鉱業	1,058	13
建設業	107,217	1,583
電気・ガス・熱供給・水道業	9,058	14
情報通信業	18,677	41
運輸業	34,143	181
卸売・小売業	204,916	2,066
金融・保険業	75,882	69
不動産業	127,216	695
各種サービス業	200,153	1,898
地方公共団体	83,315	51
その他	405,599	71,166
合計	1,485,536	79,833



<地域向け（北陸3県）業種別貸出金残高・貸出先数>

(百万円, 先)

業種	貸出金残高	貸出先数
製造業	165,511	1,804
農業	1,295	104
林業	235	8
漁業	118	10
鉱業	1,058	13
建設業	92,590	1,528
電気・ガス・熱供給・水道業	7,079	12
情報通信業	15,173	35
運輸業	17,503	155
卸売・小売業	160,033	1,916
金融・保険業	11,409	26
不動産業	90,256	601
各種サービス業	150,260	1,782
地方公共団体	83,315	51
その他	355,282	68,630
合計	1,151,124	76,675



(2) 中小企業向け貸出業務の状況

ア. 中小企業向け貸出金残高・貸出先数

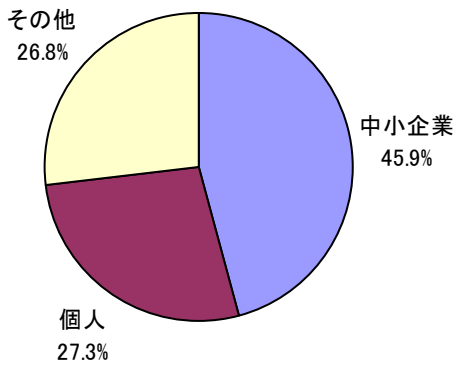
中小企業向け貸出金残高は 681,362 百万円、貸出先は 8,328 先で、それぞれ総貸出金、総貸出先数の 45.9%、10.4%となりました。

このうち、北陸3県内は、貸出金残高で 598,505 百万円（うち福井県内 505,118 百万円）、貸出先は 7,890 先（うち福井県内 6,753 先）となりました。

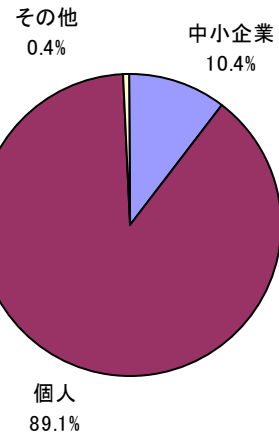
(単位:百万円、先)

	残高				先数			
	総貸出金	中小企業	個人	その他	総貸出金	中小企業	個人	その他
全店	1,485,536	681,362	405,623	398,550	79,833	8,328	71,166	339
北陸3県	1,151,124	598,505	355,306	197,313	76,675	7,890	68,630	155
福井県	921,130	505,118	264,503	151,509	68,128	6,753	61,270	105

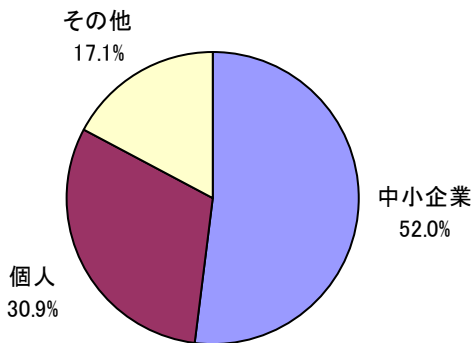
中小企業・個人向け貸出金残高、貸出金比率(全店)



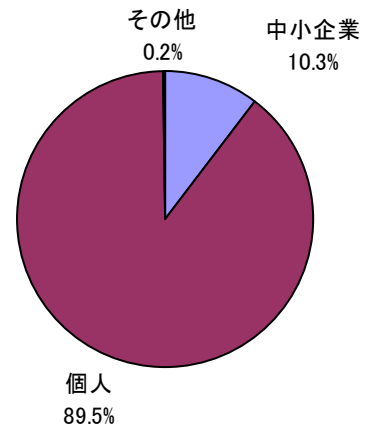
中小企業・個人向け貸出先数(全店)



中小企業・個人向け貸出金残高、貸出金比率(北陸3県)



中小企業・個人向け貸出先数(北陸3県)



## イ. 中小企業向け融資商品の提供内容

### (ア) 中小企業の資金ニーズに迅速に応じる商品の概要・取扱状況

中小企業のみなさまの資金ニーズに迅速にお応えするため、16年4月に過度に担保・保証人に依存しない商品として「DASHファンドコベナンツ型」の取扱いを開始し、同年5月には創業者向け融資「ナチュラ・ベンチャーファンド」の取扱いを、17年1月には北陸税理士会との提携にて財務諸表の精度が相対的に高いみなさまに対する「スーパーナチュラビジネスローン」の取扱いを開始するなど各種ニーズに対応した融資商品をご提案しております。

◆NBL取扱状況	2,265 件	8,521 百万円	(平成17年3月末現在)
◆DASHファンドコベナンツ型	24 件	1,215 百万円	
◆ナチュラ・ベンチャーファンド	3 件	11 百万円	

### (イ) 私募債・証券化商品等の取扱状況

私募債は平成12年度に施行された信用保証協会の特定社債制度を皮切りに、発行額は拡大を続けております。当行でも、中小企業のみなさまの私募債発行をご支援しており、現在までの受託・引受実績は順調に推移しております。

◆「信用保証協会保証付私募債」の受託・引受実績		◆「銀行保証付私募債」の受託・引受実績	
平成12年度	13 件 1,950 百万円	平成15年度	5 件 850 百万円
平成13年度	15 件 1,690 百万円	平成16年度	12 件 2,370 百万円
平成14年度	26 件 2,920 百万円		
平成15年度	19 件 1,900 百万円		
平成16年度	4 件 730 百万円		
◆「日本政策投資銀行保証付私募債」の受託・引受実績			
平成16年度	2 件 200 百万円		

## ウ. 福井県内の信用保証協会保証付貸出金残高

当行では、中小企業のみなさまへの資金供給の円滑化を図るため、信用保証協会の各種保証制度を積極的にご提案・お取扱いしております。平成17年3月末現在の福井県信用保証協会保証付貸出金残高は106,311百万円、シェアは34.8%となっております。

## エ. 地方公共団体の制度融資への取組状況

当行は、福井県や市町村の制度融資取扱窓口として、中小企業のみなさまの資金ニーズにお応えするための取組みを行っております。平成16年7月の福井豪雨の支援資金としての「中小企業支援緊急資金」につき、125件2,398百万円のご利用をいただいたのをはじめ、創業支援関連・福井県緊急経営改善借換資金などの各種制度融資をご利用いただいております。

制度融資取扱実績（15年4月～17年3月）（百万円）

	件数	金額
中小企業支援緊急資金（豪雨関連）	125	2,398
創業支援（開業特別、意欲のある企業）関連	56	613
福井県緊急経営改善借換資金	63	2,450
上記以外の県・市町村制度資金	1,331	24,269
合計	1,575	29,730

(3) 個人向け貸出業務の状況

ア. 個人向け貸出金残高・貸出先数

個人向け貸出金残高は、消費者ローンが順調に増加した結果、405,623 百万円（うち消費者ローン 362,271 百万円）、貸出先は 71,166 先となりました。

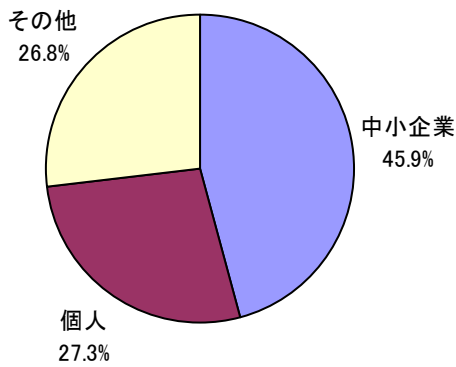
このうち、北陸3県内では、貸出金残高は 355,306 百万円（うち福井県内 264,503 百万円）、貸出先は 68,630 先（うち福井県内 61,270 先）となりました。

<個人向け貸出金残高・貸出先数・貸出金比率>

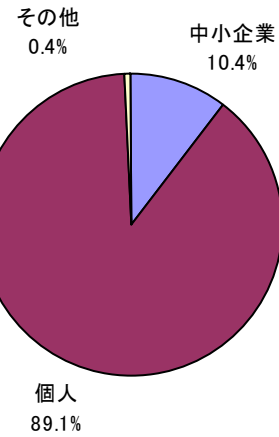
(単位:百万円、先)

	残高				先数			
	総貸出金	中小企業	個人	その他	総貸出金	中小企業	個人	その他
全店	1,485,536	681,362	405,623	398,550	79,833	8,328	71,166	339
北陸3県	1,151,124	598,505	355,306	197,313	76,675	7,890	68,630	155
福井県	921,130	505,118	264,503	151,509	68,128	6,753	61,270	105

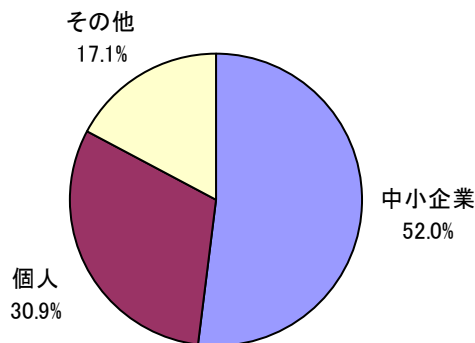
中小企業・個人向け貸出金残高、貸出金比率(全店)



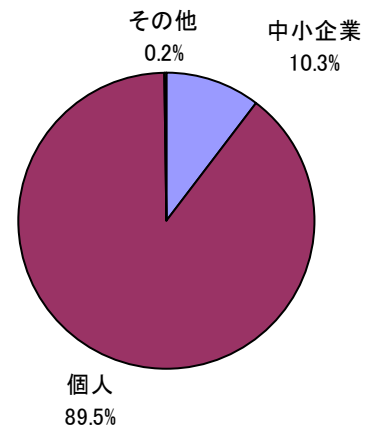
中小企業・個人向け貸出先数(全店)



中小企業・個人向け貸出金残高、貸出金比率(北陸3県)



中小企業・個人向け貸出先数(北陸3県)



## イ. 個人向けローン商品の提供内容

### (ア) 個人の資金ニーズに応じる商品の概要・取扱状況

当行では、住まいづくりをはじめ、結婚・教育・各種消費材の購入など個人のお客さまの多様な資金ニーズにお応えするため、以下のような個人向けローン商品をご用意させていただき、17年3月末現在3,622億円のご利用をいただいております。

商品名	商品概要
住宅ローン	住宅の新築・増改築・宅地・土地付住宅のご購入のほかに、住宅取得に伴う諸費用にご利用いただけます。お借入れいただく時の“借りやすさ”はもちろん、お借入れいただいた後も“安心”してご利用いただけるよう、「ガン保障特約付住宅ローン」や「債務返済支援保険」などの商品をご提供させていただいております。
消費者ローン	マイカーご購入・教育費用・リフォームのほか、各種消費資金にご利用いただけます。
カードローン	カード1枚でご自由に簡単にご利用いただけます。

### (イ) 個人ローン取扱専門窓口の設置と業務内容

当行では、平日銀行にご来店いただけないお客さまのために、平日は夕方まで、さらに土・日・祝日も営業している拠点「ナチュラプラザ」を設置しております。平成17年3月末現在、福井県内に6箇所、石川県内に2箇所、富山県内に1箇所と北陸3県としましては計9箇所の設置となっております。

主に、住宅ローンなどのローンご相談業務が中心で、福井県内では住宅ローンご相談件数の約半数が「ナチュラプラザ」でのご相談案件となっております。

### (ウ) 福井豪雨被災者への復興支援ローン

平成16年7月の福井豪雨により被災された個人のお客さま向けローンの金利優遇制度や福井県被災者住宅再建資金無利子貸付事業に基づく低利融資制度の創設を行う一方で、土・日・祝日も営業している「ナチュラプラザ」と被災地域の営業店を中心に被災されたお客さまのローン相談・受付を行ってまいりました。



## 2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況

### (1) 顧客接点の状況

#### ア. 店舗等チャネルの状況

##### (ア) 店舗・ATMの設置状況等

当行の店舗数は平成17年3月末現在100店舗で、福井県内28市町村のうち26市町村に設置しているほか、個人のお客さまのお借入や資産運用などの各種ご相談窓口として、土・日・祝日も営業している「ナチュラプラザ」を北陸3県に9箇所設置しております。

また、北陸3県のATMコーナーは、年中365日無休で午前8時から午後9時までの稼働としております。さらに、宝くじが購入できるほか、郵貯とATMオンライン提携を実施するなど、お客さまの利便性向上を図ってまいりました。

(17年3月末現在)

	店舗数	店舗設置市町村数	ナチュラプラザ	店舗外ATM
福井県	79	26	6	131
石川県	10	6	2	16
富山県	4	2	1	1
その他	7	7	5	1
合計	100	41	14	149

注1 店舗数には、有人の出張所、入金照会サービスの管理専用店舗である「振込専用支店」、被振込専用店舗である「本店営業部大手町出張所」を含みます。

注2 店舗外ATMは箇所数です。

##### (イ) チャネル多様化による利便性

当行では、お取引先さまへの新たなチャネルの一つとしてインターネット等を活用したご融資受付・ご相談への取組みを進めており、平成16年11月にも新たに携帯電話Webサイトから簡単にローン相談・申込みを可能とした「カシャッとローン」サービスの取扱いを開始しました(2次元コードを利用)。

また、インターネットや携帯電話による残高照会や振込・振替等のサービスをご提供しております「インターネット・モバイルバンキングサービス」のお取扱時間を土・日・祝日も含め7:00~23:45にまで延長・拡大しまして、一層の利便性向上に努めてまいりました。(但し1/1~1/3,5/3~5/5のメンテナンス期間を除く)

営業店窓口に加えて、これらの新しいチャネルの機能充実により、お客さまに一番近い銀行として、様々なご要望やご相談に対し柔軟にお応えできる営業体制を整えております。

##### (ウ) バリアフリーへの取組等

当行では、音声が大きく聞こえる小型音声増幅器「ボイスメッセ」や老眼鏡を全店に常備しているほか、新設および増改築店舗を中心に車椅子用のスロープやトイレを設置するなどのバリアフリー化を進めております。また、一部の営業店やナチュラプラザには手話ができる行員を窓口配置するなど、高齢者や障害のある方に配慮したやさしい店舗づくりを進めて

おります。

(2) 預金業務等の状況

預金は、金利が過去最低水準を続ける環境の中で高金利預金の取入れを抑制しましたことに加え、多様化するお客さまの資産運用のニーズにお応えするため、国債、投資信託、個人年金保険などの販売に注力しました結果、総預金残高は1,798,085百万円となりました。

このうち、北陸3県では1,708,844百万円(構成比95.0%)、福井県内では1,570,282百万円(同87.3%)となっております。

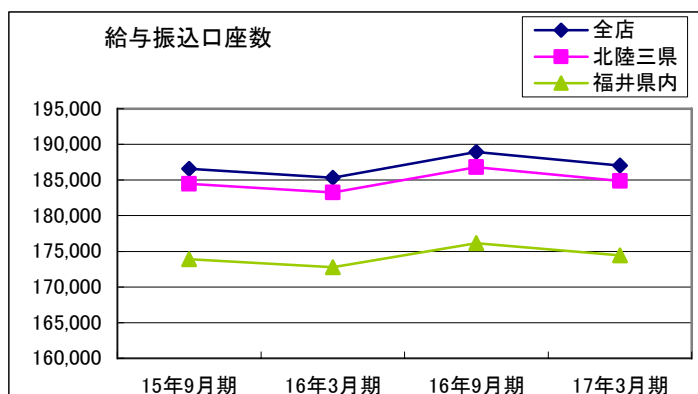
ア. 総預金残高、預かり資産残高 (百万円)

平成17年3月	全店	うち北陸3県	うち福井県	うちその他
総預金	1,798,085	1,708,844	1,570,282	89,241
譲渡性預金	74,423	73,023	66,402	1,400
国債	103,880	101,406	90,138	2,473
投信	55,755	55,138	51,611	617
個人年金保険	13,793	13,632	12,747	160

イ. 決済・資産形成サービス等の利用状況

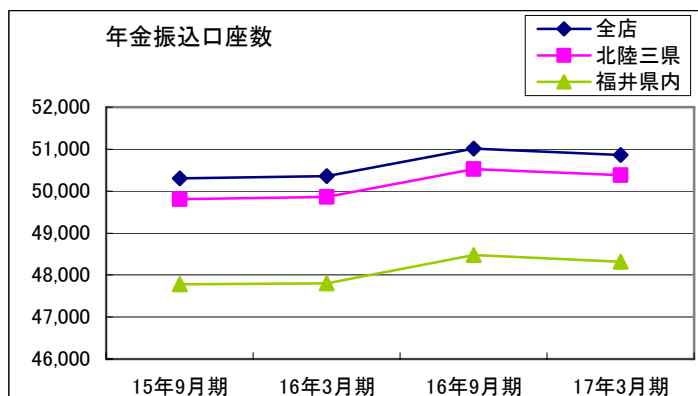
● 給与振込口座の推移 [単位: 口]

	全店	うち北陸3県	うち福井県
15年9月期	186,607	184,494	173,899
16年3月期	185,343	183,272	172,762
16年9月期	188,923	186,810	176,161
17年3月期	187,025	184,896	174,442



● 年金振込口座の推移 [単位: 口]

	全店	うち北陸3県	うち福井県
15年9月期	50,305	49,809	47,778
16年3月期	50,360	49,860	47,807
16年9月期	51,012	50,527	48,473
17年3月期	50,862	50,378	48,319



ウ. 地域顧客への利便性提供に資する取組状況

(ア) 預金商品・各種金融商品・決済サービス等の内容

当行では、国内預金商品のほか外貨預金・国債・投資信託・個人年金保険など、お客さまの様々な資産運用ニーズにお応えできるよう商品の充実を図っております。

(イ) 相談業務態勢の充実

お取引先よりのご要請に応じて、各営業店やお取引先企業にて各種資産運用セミナーを開催するなどの取組みも積極的に行っており、また、本部には社会保険労務士やFPを始めとした有資格者を配置することで、年金・セカンドライフプランといった専門的なご相談にもお応えできる態勢を整えております。

(3) 子会社を通じた利便性提供の状況

福井銀行グループは福井銀行および子会社9社で構成され、銀行業務を中心にリースやEB商品のご提供など様々な金融機能の充実を図り、地域のみなさまにご満足いただける商品・サービスをご提供しております。

【福井銀行グループ】

- ・株式会社福井銀行
- ・福銀ビジネスサービス株式会社（現金精査・ATM保守管理等）
- ・福銀スタッフサービス株式会社（労働者派遣業務等）
- ・福銀オフィスサービス株式会社（事務受託業務）
- ・福銀総合管理株式会社（当行貸出に係る競落不動産の取得・売却業務）
- ・株式会社福銀ローンワーク（融資関連事務受託業務）
- ・福井信用保証サービス株式会社（住宅ローン等の保証業務）
- ・株式会社福銀リース（リース事業）
- ・株式会社福井ディーシーカード（クレジットカード業務）
- ・福井ネット株式会社（EB商品の販売等コンピュータ関連事業）

### 3. 地域経済活性化への取組状況

(1) 企業に対する経営サポートの状況

ア. 企業の経営相談等への取組状況

(ア) 海外進出企業への支援

講師派遣を通じた取引先企業等への貿易実務指導や、提携先である中国の法律・税務・会

計に精通した外部機関・専門家による現地関連情報を提供するなど、海外ビジネスへの支援体制を整えております。

- ・中国銀行東京支店（本社：中国北京市）との業務提携により、お取引先の中国現地法人への人民元建融資（当行保証）を実行するなど、現地で発生する資金調達ニーズにも積極的に応えております。
- ・みずほファクター（株）との業務提携により「輸出ファクタリング業務」の取扱いを開始、当行取引先に対し輸出取引における信用リスクヘッジ手段を提供するとともに、取引先の依頼によっては輸出売掛債権の資金化までを行い、多様化する輸出者のビジネスニーズに対応してまいりました。
- ・セミナーの企画や講師派遣を通して、多くのお客さまに対し中国における事業展開のサポートや貿易実務指導を実施し、お取引先の国際化の一助となっております。

#### <セミナーおよび勉強会開催の実績>

##### ○ 平成 15 年 6 月 26 日、27 日

福井商工会議所主催「貿易実務講座（初級編）」（参加者 70 名）

講 師：当行法人営業グループ海外支援室

テーマ：「輸出入業務における決済について」

##### ○ 平成 15 年 7 月 7 日

ふくぎんカレッジ「中国ビジネスセミナー」開催（参加者 65 社、82 名）

講 師：（株）マイツ 代表取締役 池田 博義氏

テーマ：「会計士からみた中国進出企業の現状問題と解決策」

講 師：上海越智経貿発展（有） 総経理 平野 清一氏

テーマ：「中国での人材確保について」

##### ○ 平成 16 年 7 月 26 日、27 日

福井商工会議所主催「貿易実務講座（基礎編）」（参加者 46 名）

講 師：当行法人営業グループ海外支援チーム

テーマ：「銀行取引としての輸出取引・輸入取引」

##### ○ お取引先のご要請により「貿易実務研修」を開催

（平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月 計 7 回）

##### （イ）取引先企業向け社員研修の開催、講師派遣等

お取引先のご要請により、マナー研修等の講師派遣（平成 16 年 9 月～平成 17 年 3 月 延 22 回、平成 15 年 4 月～平成 17 年 3 月 延 166 回）をグループ会社である福井ネット株式会社を中心に行いました。

##### （ウ）取引先企業に対する経営サポート体制

インターネットを利用した情報サービスの「福銀ビジネス経営情報提供サービス」により、お取引先企業の会員のみなさまに「経営情報」のご提供と「ビジネスマッチング」のお手伝いをさせていただいております。平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月の期間中に、会員数が 26 先増加し、累計で 1,620 先になっております。「ビジネスマッチング」の登録は 8 件増加し、累計で 20 件と

なりました。また、経営ご相談の窓口を設置しており、本店や支店を通じお取引先企業の商工ご相談、法律ご相談、税務ご相談、財務ご相談などに外部専門家を活用しながら迅速にお応えしております。

<相談実績：15年4月～17年3月>

開業ご相談	22件	労務ご相談	36件
商工ご相談	297件	その他ご相談	120件
法律ご相談	67件		
税務ご相談	88件		
財務ご相談	96件	合計	726件

## イ. 企業再生への取組状況

### (ア) 体制の整備状況

平成16年3月には、従来の「企業再生室」と「企業支援室」を統合しチームへ昇格させ、「企業再生支援チーム」として機能強化を図り、営業店との連携を図りながらお取引先企業への派遣等に取り組み、外部環境・内部環境調査、マネジメント評価、意識調査等各種の経営分析を行うなど、経営改善に向けた提言を中心とした活動を行って参りました。また同チームと営業店担当者での共同での企業調査・改善支援活動を通し、営業店の企業再生に対する意識・スキルの向上にも力をいれてまいりました。平成17年3月には「企業再生支援チーム」を解散しその機能を「審査チーム」が継承させ、企業再生への取組みをより日常的な業務として位置付け、引続き経営改善に向けた提言を行ってまいります。

### (イ) 他金融機関との連携

日本政策投資銀行と福井県内に本店を置く金融機関との間で「地域金融協議会」を創設し、企業再生に関する意見交換を定期的に行っております。また、日本政策投資銀行、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫、国民生活金融公庫の4つの政府系金融機関と業務連携協定を締結し、中小企業金融活性化に向けた協力を行っております。

### (ウ) 中小企業再生支援協議会への協力と活用

福井県中小企業再生支援協議会立ち上げ時の人員派遣、全国初の再生支援認定企業の取上げ等、積極的に連携・活用を図ってきました。平成16年10月から平成17年3月までの半年間では、新たに「二次対応」案件2件、「一次対応」案件1件に取り組みいたしました。

(平成15年4月から平成17年3月までの2年間での実績「二次案件」8件、「一次対応」2件)

### (エ) 人材育成

全国地方銀行協会ならびに金融実務関連企業主催の研修・セミナーに積極的に人材を派遣するとともに、営業店行員の育成を目的に①行内研修、②企業再生支援チームと帯同にて企業内部での調査・改善支援活動を実施する等、事業再生支援実務に関する知識・経験の蓄積に努めて参りました。

### (オ) 具体的な成果

平成16年10月から平成17年3月までの半年間で経営改善支援取組先468社のうち、38社についてはランクアップとなりました。(平成15年4月から平成17年3月までの2年間では110先のランクアップ)

企業側においては、経営者の意識改革や事業意欲の回復効果が見受けられ、数字に現れな

い成果も出てきております。

当行においても、企業支援活動を通じ、顧客とのリレーション強化につながっているものと考えております。今後は営業店を主に活動し、本部がサポートする形で、企業支援活動の裾野を広げ、引続き取引先企業への経営改善に向けた提言を行ってまいります。

## (2) 企業育成への取組

### ア. 企業育成等への取組状況

#### (ア) 地域の産官学機関との連携

地域機関（福井県産業支援センター・福井県中小企業大学校・福井商工会議所など）との連携を強化し、フォーラム、セミナーなどに参加し、ネットワークの構築、情報交換の場をつくってまいりました。

#### (イ) 地域金融機関との情報交換

平成15年5月、金融機関の情報交換の場として『北陸地区産業クラスター金融会議』を開催したほか、それ以降も平成15年10月には福井県分科会を開催するなど、ネットワークの強化を図り、中小企業のみなさまの育成に取り組んでおります。

平成15年10月 北陸地区産業クラスターサポート金融会議福井県分科会

平成15年12月 近畿地区産業クラスターサポート金融会議(計4回)

平成15年12月 北陸地区産業クラスターサポート金融会議(計4回)

平成16年 7月 融資問題研究会「千葉銀行におけるビジネスマッチング活動の実際」

平成16年 9月 近畿地区「産業クラスター計画」企業経営者トップセミナー

平成16年10月 北陸地区産業クラスターサポート金融会議合同分科会

#### (ウ) 政府系金融機関との連携

地域におけるベンチャー支援、企業再生、中小企業のみなさまに役立つ情報交換を行い、地域金融を活性化させるため政府系金融機関とも業務協力協定を締結いたしました。

平成15年10月 『福井地域金融協議会』発足(計2回開催)

平成15年12月 日本政策投資銀行・「土壌汚染対策法」関連情報説明会

平成16年 2月 政府系金融機関との業務協力協定を締結

①日本政策投資銀行 『業務協力協定』

②中小企業金融公庫 『業務連携協力に関する覚書』

③商工組合中央金庫 『業務協力について』

④国民生活金融公庫 『業務連携・協力に関する覚書』

平成16年 7月 第3回『福井地域金融協議会(M&Aに関する勉強会)』

平成16年 9月 日本政策投資銀行と当行が協調して、同行が「環境配慮型経営促進事業」制度を活用し、発行支援のため保証する私募債の仕組み「エコ・スピリッツ」をつくりあげた。全国初の取扱いで、1件100百万円を受託。

平成17年 2月 日本政策投資銀行との協調にて、「エコ・スピリッツ」1件100百万円を受託。

平成17年 3月 日本政策投資銀行と当行関連グループ会社である福銀リースが業務協力協定を締結し、中小企業のみなさまへの省エネルギー化促進システム設備リースを支援。

(3) 地方公共団体の事業との関係

ア. 地方公共団体の事業への協力等を通じた地域貢献の状況

(ア) P F I 事業への取組対応

P F I の勉強会や研修に参加するなど、制度内容や事例研究および情報収集を実施しており、体制整備を行い、対応に備えております。

※ P F I : (Private Finance Initiative)

公共事業を民間の資金・技術・経営ノウハウを使い、効率的かつ効果的に行うもの

(イ) 地方公共団体の収納事務への対応

県内 27 の県市町村の指定金融機関（17 年 3 月末現在）として、税金等の円滑な収納のご支援を実施しており、また、市町村合併でのスムーズな事務移行につき地方公共団体と連携し対応中であります。

(ウ) 地元地方公共団体の地方債の引受け

平成 15 年度（平成 15 年 6 月～平成 16 年 5 月）の引受額は、証券発行を含めて 276 億円であり、平成 16 年度引受額は平成 17 年 3 月末現在で 55 億円 となっております。

(億円)

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度 (17/3 現在)
当行引受額	249	210	379	457	276	55

(エ) 地元地方公共団体の中小企業緊急対策制度融資への対応

16 年 7 月の「福井豪雨」における「中小企業支援緊急資金」を中小企業支援および災害復興の観点から積極的に推進し、17 年 3 月末で 24 億円の取組実績となっております。

## 4. その他

(1) 地域への各種支援活動の状況

ア. ボランティア活動等の状況

(ア) 教育・福祉支援活動の状況

- ・ 献血協力運動の実施

創立100周年記念事業として実施しました献血運動を、更に経常的な協力運動に発展させていく中で、平成16年度についても年2回、福井県内6箇所にて行員による献血協力を実施しております。

(イ) 環境問題への取組

・「資源循環型社会」実現への取組

福井銀行グループから排出された紙を原料として、ペーパーリサイクルに取り組んでおります。この再生紙を「ナチュラの森」と名づけ、従来の頒布品や行内用のトイレットペーパーに替えて使用しております。

・営業室のロビーを分煙から禁煙に

多くの方が利用する全営業店、ナチュラプラザのロビー、営業室、自動機コーナーなどを終日全面禁煙とさせていただきました。

・『福井県緑化大会』への参加

地球環境保護のため毎年実施される「福井県緑化大会」に参加し、毎年100万円（10年間で総額1,000万円）分の樹木の寄付を続けております。

以 上